

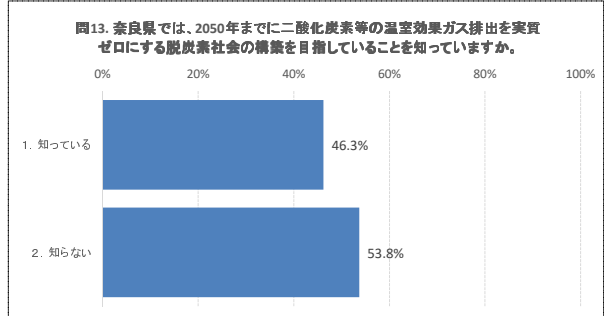
令和3年度「県民Webアンケート」 第1回 奈良県のエネルギー施策に関する意識調査

○実施期間 2021/7/7～2021/7/13

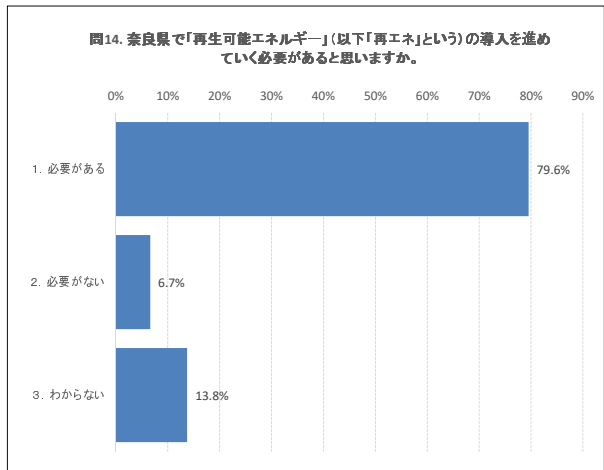
○アンケート会員数 269名 回収率 240件 (89.2%)

○奈良県のエネルギー政策は、環境にやさしいエネルギーの利活用による地域活力の向上、緊急時のエネルギー対策の推進、エネルギーをかしこく使うライフスタイルの推進を基本方針としています。2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出を実質ゼロにする脱炭素社会の構築を目指すため、今回、平成30年度に行ったアンケートと同内容である再生可能エネルギーや、水素を燃料とした次世代自動車等に関する意識調査にご協力いただき、現在のニーズや意識の変化を把握し、今後の施策を検討するための参考指標として活用したいと考えています。

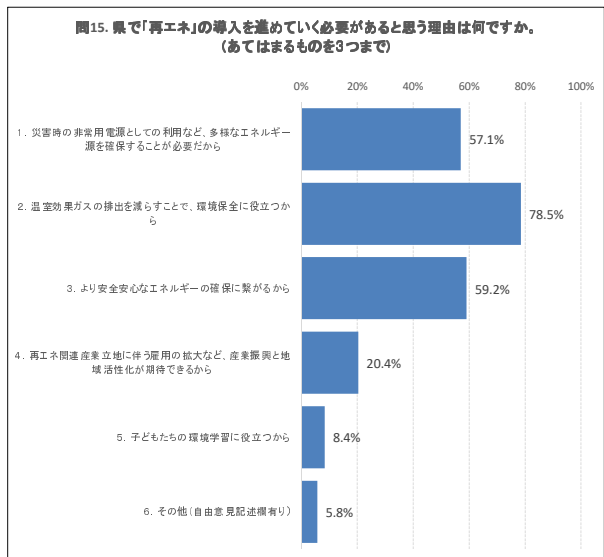
回答内容	回答数	回答対象者	比率
1. 知っている	111	240	46.3%
2. 知らない	129		53.8%
総計	240		100.0%



回答内容	回答数	回答対象者	比率
1. 必要がある	191	240	79.6%
2. 必要がない	16		6.7%
3. わからない	33		13.8%
総計	240		100.0%



回答内容	回答数	回答対象者	比率
1. 災害時の非常用電源としての利用など、多様なエネルギー源を確保することが必要だから	109	191	57.1%
2. 温室効果ガスの排出を減らすことで、環境保全に役立つから	150		78.5%
3. より安全安心なエネルギーの確保に繋がるから	113		59.2%
4. 再エネ関連産業立地に伴う雇用の拡大など、産業振興と地域活性化が期待できるから	39		20.4%
5. 子どもたちの環境学習に役立つから	16		8.4%
6. その他(自由意見記述欄有り)	11		5.8%
総計	438		-



その他(自由意見記述欄) 一部抜粋

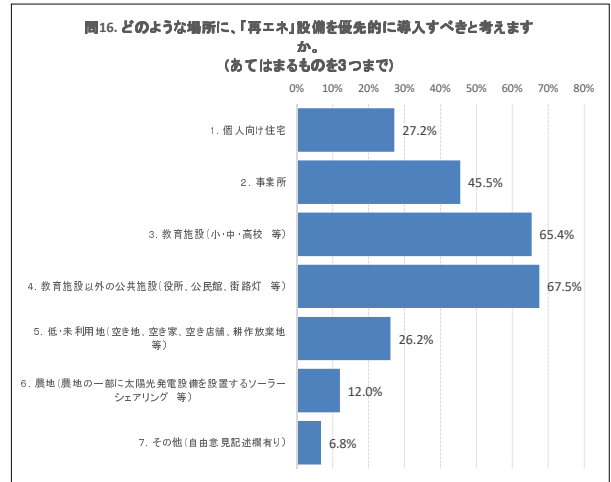
再エネは地球環境にも優しい。石油・石炭・天然ガスなどの資源が乏しいわが国にはとても大切だと思う。

地球の維持のため世界的に取り組んでいるSDGsの一つでもあり、奈良県は自然を大切にしている地域でもあるので積極的に貢献すべきかと思えます。他の地域にも参考になるような取組事例を積極的に紹介してもいいかと思えます。ただ、自然を維持管理するルールを設けながら積極的に再エネを導入することは必然と思えます。

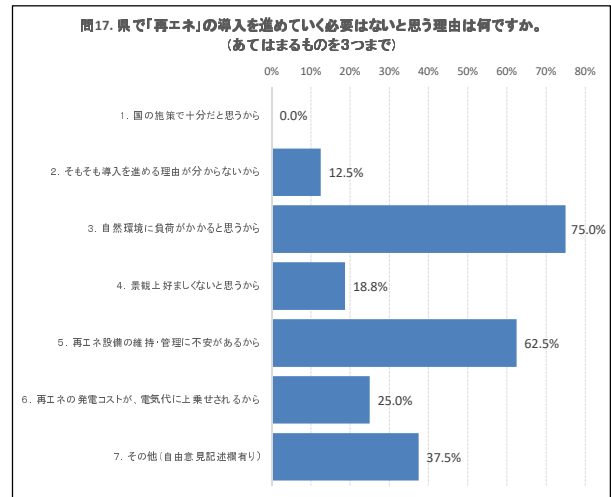
問10. 問14で「1.必要がある」を選択された方にお聞きます。どのような場所に、「再エネ」設備を優先的に導入すべきと考えますか。(あてはまるものを3つまで) 一回回答後18へ	回答数	回答対象者	比率
1. 個人向け住宅	52	191	27.2%
2. 事業所	87		45.5%
3. 教育施設(小・中・高校 等)	125		65.4%
4. 教育施設以外の公共施設(役所、公民館、街路灯 等)	129		67.5%
5. 低・未利用地(空き地、空き家、空き店舗、耕作放棄地 等)	50		26.2%
6. 農地(農地の一部に太陽光発電設備を設置するソーラーシェアリング 等)	23		12.0%
7. その他(自由意見記述欄有り)	13		6.8%
総計	479	-	-

その他(自由意見記述欄) 一部抜粋

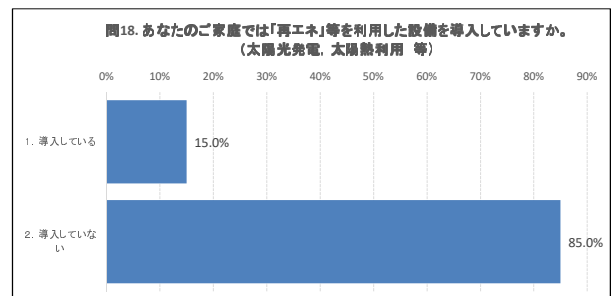
発電設備の種類によって設置できる場所が異なるが、基本的には設置に際して自然を破壊しないことが重要である。



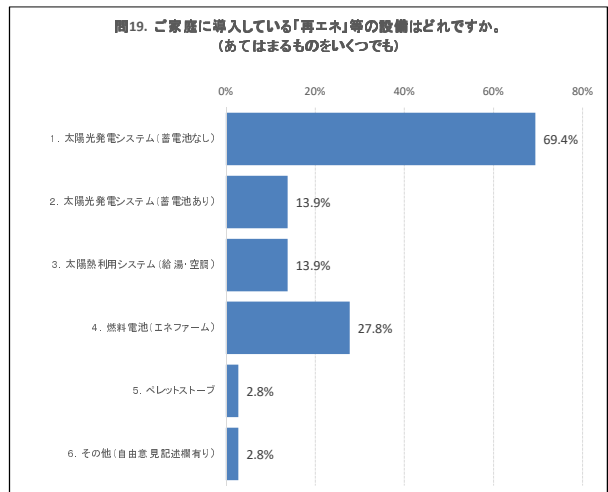
問17. 問14で「2.必要がない」を選択された方にお聞きます。県で「再エネ」の導入を進めていく必要はないと思う理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで) 一回回答後18へ	回答数	回答対象者	比率
1. 国の施策で十分だと思うから	0	16	0.0%
2. そもそも導入を進める理由が分からないから	2		12.5%
3. 自然環境に負荷がかかると思うから	12		75.0%
4. 景観上好ましくないと思うから	3		18.8%
5. 再エネ設備の維持・管理に不安があるから	10		62.5%
6. 再エネの発電コストが、電気代に上乘せられるから	4		25.0%
7. その他(自由意見記述欄有り)	6		37.5%
総計	37	-	-



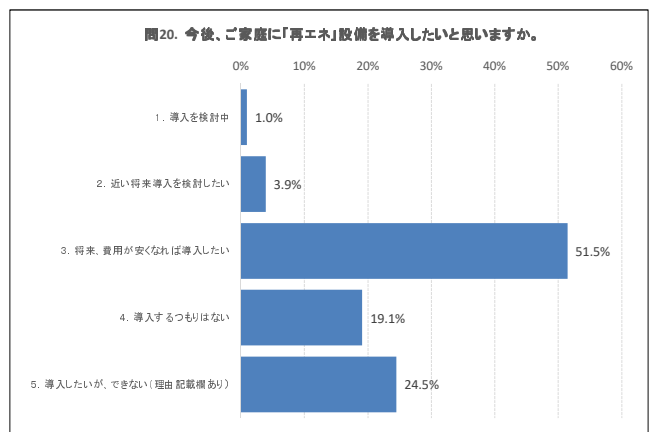
問18. あなたのご家庭では「再エネ」等を利用した設備を導入していますか。(太陽光発電、太陽熱利用 等)	回答数	回答対象者	比率
一この設問(問18)で「1.導入している」を選択された方は問19へ、「2.導入していない」を選択された方は問20へ			
1. 導入している	36	240	15.0%
2. 導入していない	204		85.0%
総計	240	-	100.0%



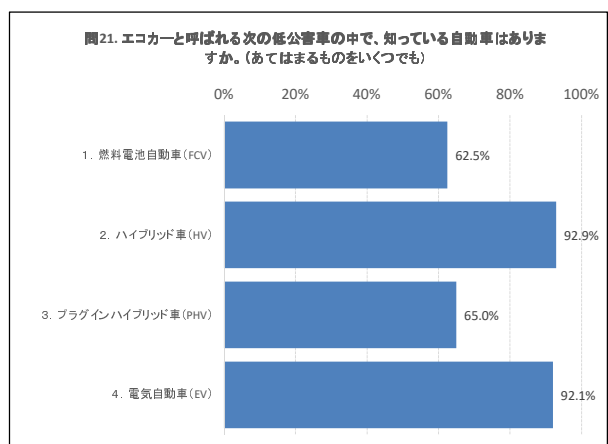
回答数	回答対象者	比率
問18. 問18で「1.導入している」を選択された方にお聞きします。ご家庭に導入している「再エネ」等の設備はどれですか。(あてはまるものをいくつでも) 一回答後問21へ		
1. 太陽光発電システム(蓄電池なし)	25	69.4%
2. 太陽光発電システム(蓄電池あり)	5	13.9%
3. 太陽熱利用システム(給湯・空調)	5	13.9%
4. 燃料電池(エネファーム)	10	27.8%
5. ペレットストーブ	1	2.8%
6. その他(自由意見記述欄有り)	1	2.8%
総計	47	-



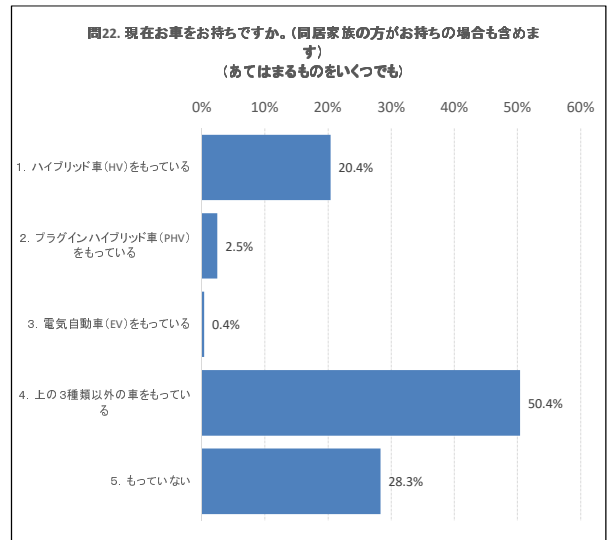
回答数	回答対象者	比率
問20. 問18で「2.導入していない」を選択された方にお聞きします。今後、ご家庭に「再エネ」設備を導入したいと思いますか。 ※選択肢らの理由記載例：マンションやアパートに居住しているため設置できない、スペースの都合により設置できない等 一回答後問21へ		
1. 導入を検討中	2	1.0%
2. 近い将来導入を検討したい	8	3.9%
3. 将来、費用が安くなれば導入したい	105	51.5%
4. 導入するつもりはない	39	19.1%
5. 導入したいが、できない(理由記載欄あり)	50	24.5%
総計	204	100.0%



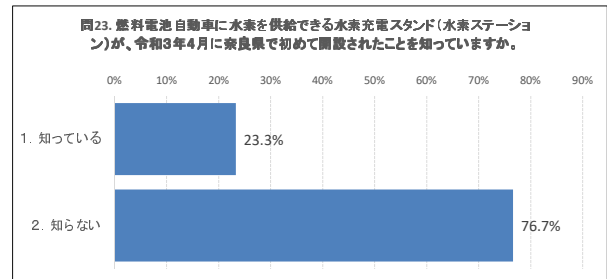
回答数	回答対象者	比率
問21. エコカーと呼ばれる次の低公害車の中で、知っている自動車はありますか。(あてはまるものをいくつでも)		
※「燃料電池自動車(FCV)」：タンク内の水素と空気中の酸素を取り込み、化学反応により電気を作り、モーターで走行する自動車。 ※「ハイブリッド車(HV)」：ガソリンで動くエンジンと、電気でも動くモーターの2つの動力で走行する自動車。 ※「プラグインハイブリッド車(PHV)」：家庭の電源などからもバッテリーに充電することができるハイブリッド車。 ※「電気自動車(EV)」：蓄電池に電気を充電して、走行する。電気を動力源とする自動車。		
1. 燃料電池自動車(FCV)	150	62.5%
2. ハイブリッド車(HV)	223	92.9%
3. プラグインハイブリッド車(PHV)	156	65.0%
4. 電気自動車(EV)	221	92.1%
総計	750	-



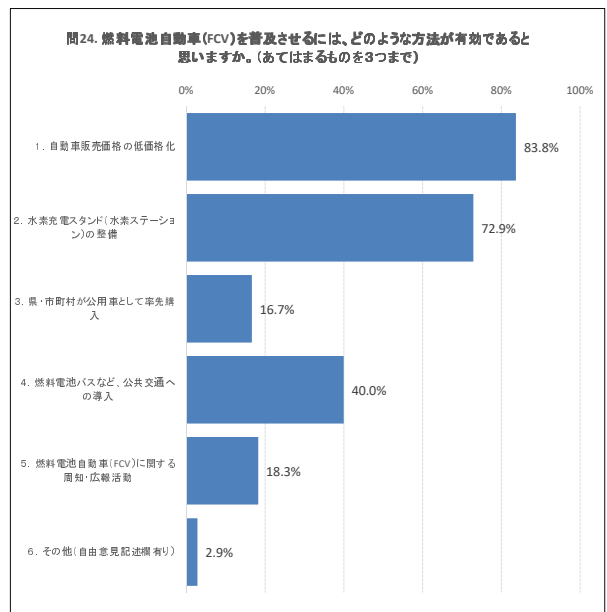
問22. 現在お車をお持ちですか。(同居家族の方がお持ちの場合も含めます)(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. ハイブリッド車(HV)をもっている	49	240	20.4%
2. プラグインハイブリッド車(PHV)をもっている	6		2.5%
3. 電気自動車(EV)をもっている	1		0.4%
4. 上の3種類以外の車をもっている	121		50.4%
5. もっていない	68		28.3%
総計	245		-



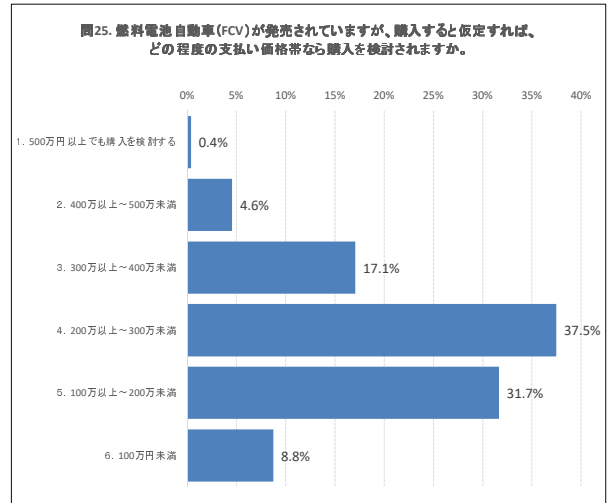
問23. 燃料電池自動車に水素を供給できる水素充電スタンド(水素ステーション)が、令和3年4月に奈良県で初めて開設されたことを知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
1. 知っている	56	240	23.3%
2. 知らない	184		76.7%
総計	240		100.0%



問24. 燃料電池自動車(FCV)を普及させるには、どのような方法が有効だと思いますか。(あてはまるものを3つまで)	回答数	回答対象者	比率
※「燃料電池自動車」はトヨタ「MIRA1」やホンダ「クラリティ」があります。トヨタ及びホンダ公式ホームページ掲載のメーカー希望小売価格は、「MIRA1」710万円、「クラリティ」784万円です。また、登録台数は、令和2年3月末時点で、奈良県3台、近畿2府4県262台、全国3,758台となっています。<出典:(一社)自動車検査登録情報協会>※燃料の水素を供給する水素ステーションは、令和3年4月時点で近畿2府4県18箇所、全国146箇所に設置されています。(奈良県1箇所)<出典:燃料電池実用化推進協議会>			
1. 自動車販売価格の低価格化	201	240	83.8%
2. 水素充電スタンド(水素ステーション)の整備	175		72.9%
3. 県・市町村が公用車として率先購入	40		16.7%
4. 燃料電池バスなど、公共交通への導入	96		40.0%
5. 燃料電池自動車(FCV)に関する周知・広報活動	44		18.3%
6. その他(自由意見記述欄有り)	7		2.9%
総計	563		-



問25. 燃料電池自動車 (FCV) が発売されていますが、購入すると仮定すれば、どの程度の支払い価格帯なら購入を検討されますか。	回答数	回答対象者	比率
1. 500万円以上でも購入を検討する	1	240	0.4%
2. 400万以上～500万未満	11		4.6%
3. 300万以上～400万未満	41		17.1%
4. 200万以上～300万未満	90		37.5%
5. 100万以上～200万未満	76		31.7%
6. 100万円未満	21		8.8%
総計	240		100.0%



問26. 問25で選択した価格以内であれば、購入したいと思う理由 (あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
1. 環境性能に優れているから	176	240	73.3%
2. 災害時に発電機として使用可能だから	128		53.3%
3. 誰かが買わないと普及しないから	47		19.6%
4. 新しいものが好きだから	11		4.6%
5. デザインが良いから	4		1.7%
6. その他 (自由意見記述欄有り)	25		10.4%
総計	391		-

